

I 人口の現状分析

ー総人口の推移と将来推計ー

- 福島県の人口は、約**184万人**
(令和元年(2019年)10月1日現在)
- 避難者の動態予測を含めた県独自の人口推計では、県の人口は**令和22年(2040年)に約143万人**になるものと推計される。

ー人口動向(自然動態・社会動態)ー

- 出生・死亡の増減(自然動態)は、平成15年(2003年)以降、死亡数が出生数を上回って推移しており、こうした構造的な要因により、自然減少の幅が拡大している。
- 転入・転出の状況(社会動態)は、進学期と就職期の若者の転出の影響が大きく、特に20~24歳の就職期に多く見られる。

ー人口減少が地域社会に与える影響ー

- 令和22年(2040年)には就業者は61.5万人(平成27年(2015年)92.2万人)になると予測され、人口の減少による消費の縮小など、地域経済の活力低下が懸念される。
- また、地域社会では、子どもや若者の減少に伴い、学校や地域コミュニティの維持が難しくなるとともに、医療・介護などの社会保障や行財政サービスなど、様々な分野で従来の水準維持が困難となるおそれがある。

II 人口の将来展望

1 将来展望に係る県民アンケート結果(概要)

※県民アンケートの結果、主に以下の視点に対する施策を講じる必要がある。

- 【結婚】「雇用の安定(経済力の安定)」「男女が会う機会づくり」
- 【出産・子育て】「経済的な負担の軽減」「子育て環境の整備」「仕事と家庭の両立」
- 【進路】「県内の魅力的な企業づくり」「県内の魅力的な教育環境の整備」
- 【定住・二地域】「移住前の様々な情報提供」「移住後の仕事や暮らしに関する総合的なサポート」

2 目指すべき将来の姿

※人口の現状分析や県民アンケートの結果を踏まえ、今後に向けて3つの基本的視点と人口目標を掲げ、その実現を目指す。

「復興」と「地方創生」を両輪で推進

(1) 基本的な視点

※SDGsの考え方を反映

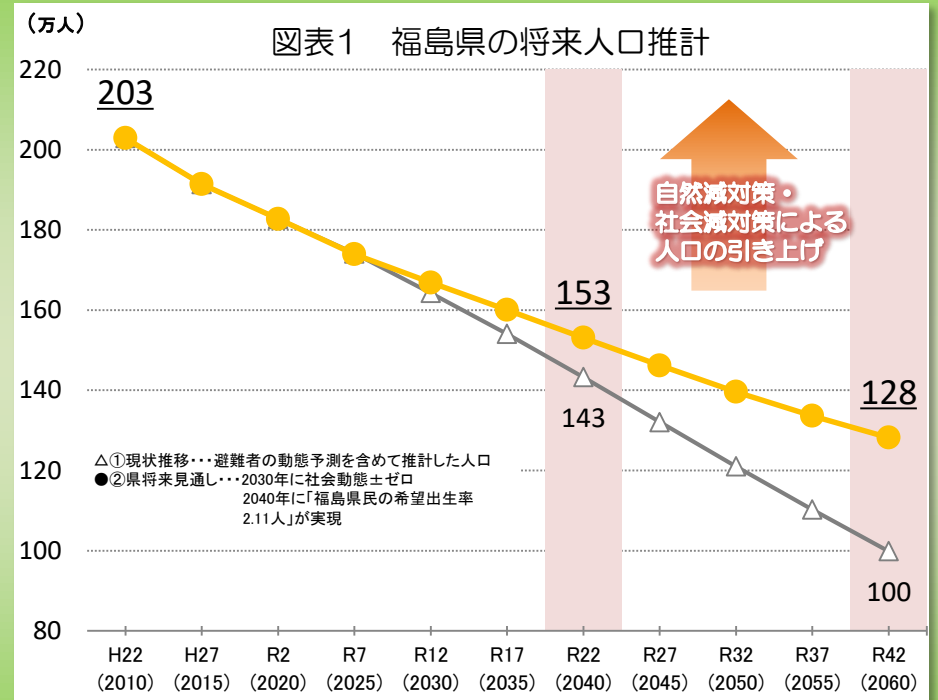
- ① 「ふくしまプライド。」を追求するための、一人ひとりの思いを大切にし、挑戦を支える社会の実現
- ② それぞれの強みを発揮し、相互に連携・共働する社会の実現
- ③ 「ふくしま」の地で挑戦する姿を見て、自分も挑戦したくなる、人が人を呼び込む「あこがれの連鎖」を生む社会の実現

(2) 人口目標

【前提条件】

- ・ 出生率：令和22年(2040年)に**福島県民の希望出生率2.11**を実現(平成30年1.53)
- ・ 移動率：令和12年(2030年)に**社会動態±ゼロ**を実現

上記条件が実現した場合、**福島県の人口は令和22年(2040年)に153万人程度**となる見通し



令和22年(2040年)に福島県総人口150万人程度の維持を目指す!

持続可能なふくしまの実現